

第2学年 生活科学習指導案

1 単元名 「たんけん はっけん 大ぼうけん」

2 指導観

<こんな子どもだから>

1学期の「たんけん はっけん 大ぼうけん」の学習では、校区探検を通して、いつも通っているところに新たな発見をすることができた。また、校区の中にはいろいろな自然（公園など）、建物・施設があることに気付き、関心をもっている。しかし、地域の人々や施設などとの関わりが少ない。 （関心・意欲・態度）

これまでの学習では、見たことや分かったことを絵や文で自分なりに表現することができるようになってきている。また、相手の話を聴こうとする姿は少しずつ身につけているが、最後までしっかり聴こうとするところまでには至っていない。 （思考・表現）

子ども達は、校区探検の学習を通して、地域にはたくさんの人々が生活をしていることに気付いている。しかし、地域の人々と接して、自分の生活と関わっていることに気付いていない子どもが多い。 （気付き）

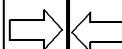
<こんな単元で>

本単元は、校区探検にある施設の働きや店などを調べることを通して人々の思いにふれ、自分達と地域の人々や施設・店との関わりに気付くことをねらいとしている。

学校のすぐ近くにある身近な公民館見学では、身の回りにはみんなを使う施設があり、それらを支えている人々がいることに気付かせたい。

公民館
館長さん

公民館
主事さん



子ども達は、校区探検の活動を通して、施設や店を調べるだけでなく、様々な人々と出会うことができる。その人々にインタビューしたり、話を聴いたりして交流を深めることで、より校区を身近に感じ、親しみや愛着をもつようにさせたい。

探検した施設や店のよさが伝わるための表現方法を自分なりに考え、工夫した交流の仕方でみんなに広げていきたい。

地域の様々な施設や店の役割やそれぞれの人々の思いや支え合って生活していることなどが分かり、自分の生活へつないで考えることができるようにさせたい。

<こんな支援で>

「であう」過程では、夏祭りに向けた取り組みを振り返ったり、公民館を定期的に利用している人の話を聴いたりして、公民館を探検したいという活動への意欲をもつように支援する。また、公民館探検の中で館長さんや主事さんの話などから、校区の中にある施設や店をもっと調べてみたいという意欲を高めるように支援する。

【知識的側面】・【技能的側面】

「さぐる」過程では、調べたい施設や店が同じ場所どうしてグループづくりをする。インタビューしたいことや見学するときのきまりやマナーなどの計画を立てて、校区の人々との関わり方について気付かせたい。

【知識的側面】・【技能的側面】

「ひろげる」過程では、校区探検を通して、様々な人々とふれ合う中でそれぞれが支え合って生活していることに気付かせたい。また、聴き合い活動を通して、友達の考えを共感的な態度で聴き、互いを尊重し合う気持ちを育てたい。

【技能的側面】・【価値的・態度的側面】

<めざす子どもの姿>

地域の人々や施設・店に関心をもち、積極的に関わりをもとうとする。

（関心・意欲・態度）

地域の人々にインタビューしたり、話を聴いたりしたことを自分なりに考え、工夫した方法で表現することができる。また、その表現したものをもとに、探検して新たに発見できたことを、友達と聴き合うことができる。

（思考・表現）

地域の人々と接したり、施設や店を探検したりすることを通して、地域と自分達の生活につながりがあることに気付くことができる。

（気付き）

3 指導計画（総計 22 時間）

過程	主な学習活動と内容	教師の支援と子どもの評価活動 教師の支援 子どもの評価活動
<p>であつ</p>	<p>1 1学期の校区探検を想起し、公民館での体験を話し合う。</p> <p>(1) 1学期の校区探検では、川などの自然や公園、施設や店などがたくさんあったことを振り返る。</p> <p>(2) 学校のすぐ近くにある公民館で体験したことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスを習いに行っているよ。 ・ドッジボールの話し合いをしたよ。 ・本を借りに行ったことがあるよ。 <p><学習課題1> みちかなこうみんかんをたんけんしよう。</p> <p>2 公民館見学の計画を立てる。</p> <p>(1) 公民館で知りたいことや聴きたいことをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館では、どんなことをしているのかな。 ・どんな部屋があるのかな。 ・どんな人が使っているのかな。 <p>(2) ワークシートに書いたことを発表する。</p> <p>(3) 探検の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの仕方を練習しよう。 ・探検するときの約束を決めよう。 <p>3 公民館を探検する。</p> <p>【ゲストティーチャー】 公民館の館長さん 公民館の主事さん</p> <p>(1) 見たこと・聴いたことをメモする。</p> <p>(2) 自分が知りたいことをインタビューする。</p> <p>(3) 公民館の中の様子を詳しく調べる。</p> <p>4 公民館探検のまとめをする。</p> <p>(1) 気付いたことをワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな種類の本がたくさんあったよ。 ・習い事の教室がたくさんあったよ。 ・みんなが安全に生活するための話し合いにも公民館は使われているんだね。 <p>(2) 探検したことをを聴き合うことで、公民館の役割について考える。</p> <p>(3) 振り返りカードを書く。</p> <p>(4) 見学して分かったことや、お礼の気持ちを手紙に書く。</p>	<p>1学期の校区探検を思い出させ、校区にはたくさん施設や店があることに気付かせる。</p> <p>自分や家族の人が実際に利用している様子を子どもに想起させ、発表させる。</p> <p>公民館で知りたいことや聴きたいことをワークシートに書くことで、探検へ行くことの意欲をもたせる。</p> <p>公民館で探検したいことについて自分の考えを発表したり、友達の話聴いたりして話し合っている。</p> <p>公民館行事を通して、地域の人達との関わり大切に気付かせる。</p> <p>ワークシートに見たこと、分かったことを書かせる。</p> <p>知りたいことや聴きたいことをインタビューするようにさせる。</p> <p>自分達や地域の人々が豊かに暮らしていく上で、様々な役割があることに気付かせる。</p> <p>地域の中における公民館の役割について気付くことができる。</p> <p>グループで活動することで互いの話を聴き合うことができる雰囲気作りをする。</p> <p>振り返りカードの視点に沿って、活動を振り返らせる。</p> <p>公民館の方へのお礼の手紙を書くことができる。</p> <p>お礼の手紙を届ける。</p>
<p>さぐる</p>	<p>1 校区探検や公民館探検を想起し、施設や店について話し合う。</p> <p>(1) 友達に紹介したい施設や店のよさを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境開発には、大きな車が止まっているけれど、どうしてだろう。 ・〇〇駅には、たくさん人が利用しているけれど、いつもJRは時間通りにくるのかな。 ・スーパーマーケットには、いつもたくさんの商品があるよ。 <p>(2) 友達に紹介したい施設や店を決める。</p> <p><学習課題2> 校区のしせつや店をたんけんをしよう。</p>	<p>自分達や地域の人々が豊かに暮らしていく上で、様々な施設や店があることに気付かせる。</p> <p>友達に紹介するために行きたい施設や店をワークシートに書く。</p> <p>アンケートを書かせて、子ども達の行きたい施設や店の実態を把握し、複数人数でグループを作れるように配慮する。</p> <p>「人」「もの」「こと」の視点から探検したいことを考えさせる。</p> <p>様々な視点から探検したいことを考えて、ワークシートに書くことができる。</p>

	<p>2 探検の計画を立てる。</p> <p>(1) どんなことを見たり，聴いたり，体験したりしたいか考える。</p> <p>(2) 探検したいことを聴き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パン屋さんでパンを作っているところを見たいな。 ・環境開発の車について調べてみたいな。 ・レストランで人気のメニューは，なにかな。 <p style="text-align: center;">聴き合い活動</p> <p>(3) 振り返りカードを書く。</p> <p>(4) どんなところを見たり，どんなインタビューをしたりするのかを決める。</p> <p>(5) 見学の手紙を書く。</p> <p>(6) あいさつやインタビューの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館探検のことを思い出しながら，あいさつや言葉遣いなど考える。 <p>3 グループごとに施設や店に探検に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンは，一度にたくさん焼けるんだね。 ・スーパーマーケットには，たくさんの商品があるね。 ・食料品だけでなく，洋服も売ってるね。 ・レストランは，おいしそうなおいがするね。 <p>4 探検したことのまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットの人は，ていねいに商品を並べていたね。 ・駅員さんは，笑顔でお客さんと話をしていたね。 ・銀行では，間違いがないように真剣にお金を数えていたね。 <p>5 2回目の探検に行く。</p>	<p>グループで活動することで互いの話を聴き合うことができるような雰囲気作りをする。</p> <p>自分や友達によさに気付かせ，探検に意欲をもたせる。</p> <p>振り返りカードの視点に沿って，自己評価する。</p> <p>見たい場所，質問したいことを決めさせる。</p> <p>インタビューしたいことや見学するときの決まりやマナーなどを考えさせる。</p> <p>引率補助の保護者と，見学上の諸注意を事前に打ち合わせておく。</p> <p>グループの見学場所を順に回り，子ども達が意欲をもって見学をできるようにサポートする。</p> <p>インタビューの答えや気付いたことをプリントにメモさせる。</p> <p>校区の施設に行き，初めて知ったことや気付いたことをワークシートに書くことができる。</p> <p>見学の諸注意を守って協力して行動している。</p> <p>もっと詳しく知りたいことをワークシートに書く。</p> <p>改めて気付いたことをワークシートに書くことができる。</p>
ひろげる	<p>1 探検を振り返り，友達に紹介したいことをまとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">＜学習課題3＞ たんけんしてきたことをしょうかいしよう。</p> <p>2 施設や店を探検して，それぞれが自分で発見してきたことを伝え，聴き合う。</p> <p>【2年○組本時 1 / 2】【2年○組本時 2 / 2】</p> <p>(1) 探検してきたことをワークショップ形式で発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○駅では，JRの様子がわかるように掲示板に表示されていたよ。 ・スーパーマーケットでは，おすすめの品物がすぐ分かるように並べていたよ。 ・コンビニエンスストアでは，バーコードを使って商品を並べていたよ。 <p style="text-align: center;">聴き合い活動</p> <p>(2) 振り返りカードを書く。</p> <p>3 校区探検を振り返る。 【2年○組本時】</p> <p>公民館・施設や店の探検について 探検や発表会の準備について 発表会について</p> <p>4 見学して分かったことやお礼の気持ちを手紙に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の行事に参加して，たくさんの人と話したいな。 ・校区の中には，たくさんの施設や店があって，たくさんの人が生活しているんだね。 ・私達は，たくさんの人に支えられているね。 <p>5 手紙を持って行く。 (課外)</p>	<p>探検で見たことや体験したことなどを思い出しながら，まとめている。</p> <p>施設や店で自分が発見してきたことが伝わるように表現方法を工夫して，発表の準備をしている。</p> <p>分かりやすく，見やすくまとめができるために写真などの資料を準備しておく。</p> <p>新しい気付きや，友達の気付きのよさに目を向けさせる。</p> <p>初めて知ったことや気付いたことを，聴き手に伝えることができる。</p> <p>全体で話し合うことを通して，探検前の自分と比べて成長したことが実感できるようにする。</p> <p>分かったことや考えたことを手紙の形で表現することができる。</p> <p>子どもと一緒に手紙を届ける。</p>

4 本時「施設の見学をして、調べたことや発見したことを聴き合う場面」(19 / 22)

5 本時の目標

自分達が調べて分かったことや思ったことを、分かりやすく伝えようとしたり、積極的に聴こうとしたりすることができる。(思考・表現)

友達の発表を聴いて、校区の施設や店の人々が自分達の生活と関わっていることに気付くことができる。(気付き)

6 本時指導の考え方

これまで子ども達は、1学期の校区探検で校区の中にはいろいろな自然(公園など)や建物・施設があることを発見し、関心をもっている。

本単元では、学校のそばにあって身近な施設の公民館の働きを調べることを入り口に、校区の施設や店などに関心をもって調べていく活動に取り組んでいる。校区の施設や店をグループごとに見学し、見たり、聴いたり、調べたりしてきている。そのことをクラスの友達に分かりやすく伝えるように画用紙や模造紙に写真などを使ってまとめている。

本時は、前時までにとまとめた物をもとに、自分が調べてきたことを、相手を意識して話をさせ、また視点をもち相手を意識して人の話を聴かせることによって、よりよいコミュニケーションの力を育てるとともに、互いを尊重し合う態度を育てることをねらいとしている。

導入段階では、本時学習の見通しをもち、めあてをつかませる。自分が見学して分かったことを友達に教えたり、自分が見学していない施設や店のことを友達から教えてもらったりする活動であることを意識させたい。

展開段階では、自分がまとめた物をもとに聴き合い活動を行う。

聴き合い活動では、話し手は調べたことを分かりやすく伝えるために施設の写真や絵、クイズなどを用いて説明するようにする。「大きな声ではっきりと」「聴く人の方を見て」話すことを意識させる。聴き手は、「静かに最後まで」「話す人を見て」「うなずきながら」聴くことを意識させ、最後に質問をするようにする。うなずいたり、繰り返し言ったりするなどといった共感的な反応をすることによって、支持的な環境の構築と話し手の自尊感情を高めることにもつながると考える。

説明ができなかったり、きちんと聴けなかったりする子どもには、個別に声かけをし、次の場ががんばるように指導する。振り返りカードに記入できない子どもには、がんばっていたところや興味をもてる内容を助言したり、言葉で表現できる場合はその言動を認めていく。このような経験を重ねることが自己を肯定的にとらえることにつながると考える。

終末の段階では、振り返りカードをもとに、自己評価することによって振り返る視点を意識できると考える。この繰り返しを通して、相手意識をもった話し方・聴き方を定着させ、自分と他の人を大切にすることを育てることにつないでいきたい。

7 準備

子ども 調べたことをまとめた物

教師 振り返り(自己評価)カード

8 本時の展開

学 習 活 動 と 内 容	教師の支援と子どもの評価活動 教師の支援 子どもの評価活動
<p>1 これまでの活動を振り返り，本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) グループごとに施設や店の見学をしたこと (2) 調べてきたことをまとめたこと</p> <p>— < 本時のめあて > — たんけんしたせつや店で，しらべたこと・はっけんしたことを教え合おう。</p> <p>2 見たこと，聴いたこと・発見したことを聴き合う。</p> <p>(1) 聴き合いの手順を確かめる。</p> <p>— < 聴き手として > — 静かに最後まで聴く。 話す人の方を向いて聴く。 うなずきながら聴く。</p> <p>— < 話し手として > — 大きな声ではっきりと話す 聴く人の方を見て話す。</p> <p>(2) 聴き合い活動を行う。 グループを前半・後半に分ける。 ワークショップ形式で行う。</p> <p>< 方法 > ・クイズ形式 ・画用紙や模造紙にまとめる。 ・絵や写真を使う。</p> <p>< 内容 > ・〇〇駅ではJRの様子分かるように，掲示板に表示されていたよ。 ・マルシヨクでは，おすすめの品物がすぐ分かるように並べていたよ。 ・環境開発にはいろいろな車があったよ。</p> <p>3 今日の活動を振り返る。</p> <p>(1) 発表会を振り返り，振り返りカードに本時の学習の感想を書く。 (2) 振り返りカードをもとに発表する。</p> <p>— < 聴き手として > — 楽しかった。 ～が分かった。 友達の～がよかった。 ～を初めて知ったな。</p> <p>— < 話し手として > — 大きな声で言えたからよかった。 緊張したな。 恥ずかしかったな。 みんなの方を向いて発表できた。 うなずきながら聴いてくれてうれしかった</p> <p>4 次時の学習について知る。</p>	<p>見学して分かったことを友達に教えたり，自分が見学していない施設や店のことを友達から教えてもらったりする活動であることを意識させる。</p> <p>事前に発表の練習を行い，自信をもって発表できるようにする。 聴き合い活動の手順や態度について確認する。</p> <p>聴き合い活動がうまく進んでいないところには助言する。 聴き手はうなずいたり聴き返したりしながら聴く。 話し手は，調べたことを伝えられるように写真や絵を利用しながら工夫して話をする。</p> <p>振り返りカードの視点に沿って活動を振り返る。 自分や友達のがんばっていたところや，聴き合いをして気付いたことを発表させる。</p> <p>聴き手と話し手に分かれて発表する。 振り返りカードをもとに発表する。</p> <p>次時は，聴き手と話し手を交代して聴き合い活動を行うことを伝え，意欲を高める。</p>

4 本時「施設の見学をして、調べたことや発見したことを聴き合う場面」(20/22)

5 本時の目標

自分達が調べて分かったことや思ったことを、分かりやすく伝えようとしたり、積極的に聴こうとしたりすることができる。
(思考・表現)

友達の発表を聴いて、校区の施設や店の人々が自分達の生活と関わっていることに気付くことができる。
(気づき)

6 本時指導の考え方

これまで子ども達は、1学期に行った校区探検で校区の中にはいろいろな自然や建物・施設があることを発見し、関心をもっている。校区探検で見つけた校区の中の施設や店についてより詳しく知るために、2学期には「みづかなこうみんかんをたんけんしよう」というめあてをたて公民館施設に見学に行った。そこで、公民館の館長さんや主事さんにゲストティーチャーとして、公民館の利用状況や、活用の仕方などについて話していただいた。学校の近くにあり、身近な施設である公民館の働きを知ることを本単元の入り口とすることで、校区内の他の施設や店に関心をもち、興味をもって見学し、見たり聴いたり、調べたりしてきている。また、そのことをクラスの友達に分かりやすく伝えるためにまとめている。

本時は、校区内の施設や店を探検し、クラスの友達に伝えたいと思ったことを分かりやすくまとめた物をもとにして、ワークショップ形式の「聴き合い活動」を取り入れた学習である。全ての子ども達が話し手と聴き手を体験するために、この場面での「聴き合い活動」は2時間行う。本時はそのうちの2時間目である。自分が調べてきたことについて、相手を意識して話をすることによって、また、相手を意識して人の話を聴くことによって、よりよいコミュニケーションの力を育てるとともに、互いを尊重し合う態度を育てることをねらいとしている。

導入段階では、前時に行った「聴き合い活動」を想起させて、「たんけんしたしせつや店で調べたこと、はっけんしたことを教え合おう」というめあての確認をする。まず、話し手をするか、聴き手をするかの確認を行う。話し手には「大きな声ではっきりと」「聴く人の方を見て」話すことを意識させる。聴き手には「静かに最後まで」「話す人を見て」「うなずきながら」聴くことを意識させる。

展開段階では、画用紙や模造紙に写真などを用いて工夫してまとめた物をもとに聴き合い活動を行う。自分が調べたことを分かりやすく伝えるために、話し手は施設や店の写真や絵、クイズなどを用いて説明するようにする。しっかりと話を聴いていたかを確認するために、話し手は最後に質問をするようにする。うなずいたり、繰り返し言ったりするなどといった共感的な反応をすることによって支持的な環境の構築と話し手の自尊感情を高めることにもつながると考える。説明ができなかったり、きちんと聴けなかったりする子どもには、個別に指導し、次の場ががんばれるよう意欲をもたせる。

終末の段階では、「話し手・聴き手としての態度、友達の発表を聴いて校区の施設や店の人々と自分の生活との関わりについて知ったこと、友達に自分の発表を聴いてもらった感想」などの視点をもとに振り返りカードを書く。振り返りカードをもとに、自己評価することによって相手を意識した話し方・聴き方を定着させ、自分と相手を大切にすることを育てることにつながると考えた。振り返りカードに記入できない子どもには、がんばっていたところや興味をもてる内容を助言し、言葉で表現できる場合はその言動を認めていく。このような経験を重ねることが自己を肯定的にとらえることにつながると考える。

また、振り返りカードに記入したことを発表することで、学級集団の中で聴き合い活動の感想を共有すると共に、自他を尊重する態度を育てることができると考える。

7 準備

子ども 調べたことをまとめた物

教師 振り返り(自己評価)カード

8 本時の展開

学 習 活 動 と 内 容	教師の支援と子どもの評価活動 教師の支援 子どもの評価活動
<p>1 前時の聴き合い活動を想起させる。</p> <p>＜聴き手として＞ 静かに最後まで聴く。 話す人の方を向いて聴く。 うなずきながら聴く。</p> <p>＜話し手として＞ 大きな声ではっきりと話す 聴く人の方を見て話す。</p> <p>＜本時のめあて＞ たんけんしたしせつや店で、しらべたこと・はっけんしたことを教え合おう。</p> <p>2 校区の中の施設や店を探検して、分かったことや初めて知ったことを聴き合う。</p> <p>＜方法＞ ・ワークショップ形式で、画用紙や模造紙に絵や写真を用いてまとめたものを紹介する。 ・紹介したことにに関するクイズを出す。</p> <p>＜内容＞ ・〇〇駅は、遅くに電車を使う人のために、11時まで開いているよ。 ・菓子工場では、ゴミやホコリがついたら分かるように、白色の服でおせんべいを作っているよ。 ・レストランには、一度にたくさんのうどんの麺をゆでるために大きなお鍋があるよ。</p> <p>3 今日の活動を振り返る。</p> <p>(1) 振り返りカードを書いて、本時の学習を振り返る。</p> <p>＜振り返りの視点＞ 話し手・聴き手としての態度 友達の発表を聴いて校区の施設や店の人と自分の生活との関わりについて知ったこと 友達に自分の発表を聴いてもらった感想</p> <p>(2) 振り返りカードをもとに発表する。</p> <p>＜聴き手として＞ 〇〇駅が11時まで開いていることを初め知ったな。 菓子工場の人白い服を着ている理由が分かってうれしかったな。</p> <p>＜話し手として＞ 大きな声で言えたからよかったな。 緊張したな。 恥ずかしかったな。 みんなの方を向いて発表できたよ。 うなずきながら聴いてくれてうれしかったな。</p> <p>4 次時の学習について知る。</p>	<p>子どもの感想を読むことで前半の活動を評価する。 聴き合い活動の手順や態度について確認する。</p> <p>聴き合い活動がうまく進んでいないところには助言する。 聴き手は、うなずいたり分からないことは聴き返したりしながら聴く。 話し手は、調べたことを伝えられるように写真や絵を利用しながら工夫して話をする。</p> <p>振り返りカードの視点に沿って活動を振り返る。 新しい気付きや、友達の気付きのよさに目を向けさせる。 自分や友達のがんばっていたところや、聴き合いをして気付いたことを発表させる。</p> <p>聴き手は、うなずいたり、分からないことは聴き返したりしながら聴く。 話し手は、自分の思いが伝わるように話す。 発表を通して、友達や自分のよさに気付かせる。</p> <p>探検の振り返りをすることを伝え、次時への意欲を高める。</p>

4 本時「校区探検を振り返り，発見したことを高めていく場面」(2 1 / 2 2)

5 本時の目標

校区探検を振り返り，自分が考えたり感じたりしたことを表現することができる。

(思考・表現)

自分達は，地域の人々や様々な場所とつながりをもって生活していることに気付くことができる。
(気付き)

6 本時指導の考え方

これまで子ども達は，1学期の校区探検で校区の中にはいろいろな自然（公園など）や建物・施設があることを発見し，関心をもっている。

本単元では，学校のそばにあって身近な施設の公民館の働きを調べることを入り口に，校区の施設や店などに関心をもって調べていく活動に取り組んでいる。校区の施設や店をグループごとに見学し，見たり，聴いたり，調べたりしてきている。そのことをクラスの友達に分かりやすく伝えるように画用紙や模造紙に写真などを使って工夫してまとめている。そして，それをもとに発表会をしている。発表会では，前半・後半に分かれてワークショップを行い，それぞれ聴き手と話し手となり聴き合い活動を行ってきた。

そこで本時は，今までの「たんけん はっけん だいぼうけん」の学習を振り返り，自分達は地域の人々やさまざまな場所とつながりをもって生活していることや，自分や友達のよさに気付くことをねらいとしている。

そのためにまず，導入段階では，これまでの活動で出会った人や施設や店を振り返る。そして，本時学習の見通しをもって，「校区たんけんをして，すてきだな・すごいなと思ったことをふりかえろう」というめあてをつかませる。

次に，展開段階では，校区探検をして，すてきだな・すごいなと思ったことを振り返る活動を行う。はじめに，公民館や施設や店を探検したことや，探検や発表会の準備をしたことや発表会のことなどそれぞれの場面ですてきだな・すごいなと思ったことを振り返りカードに書かせる。また，それぞれ関わった人を見つめることができるように，施設・店の人は「ち」，自分のことは「じ」，友達の話は「と」，という印をつけて書き込ませる。そうすることで，それぞれの活動場面での人との関わりのよさに気付くことができると考える。そして，施設や店の人が優しく教えてくれたことや，練習したことを発表会で出すことができたことや，友達からほめてもらって嬉しかったことなどを人との関わりのよさを広めるために聴き合わせる。ここでは，自分と友達・地域の人々のよさに気付くとともに探検前の自分と比べて，自分の成長にも気付かせていきたいと考える。

最後に，終末段階では，自分が成長したことを施設や店の人々へ伝える方法を自分なりに考えさせたい。公民館見学においてお礼の手紙を書いて届けたことを想起させながら，自分が感じたことを表現する方法を工夫させる。また，表現内容は，初めて知ったことや分かったこと・教えてくれたことへの感謝の気持ち・これから自分がしていきたいことなどを自分の成長をもとに書かせていきたい。そうすることで校区をより身近に感じて，親しみや愛着をもつことができるようになると思う。

7 準備

子ども 振り返りカード

教師 活動全体の流れ図，振り返り（自己評価）カード

8 本時の展開

学 習 活 動 と 内 容	教師の支援と子どもの評価活動 教師の支援 子どもの評価活動
<p>1 これまでの活動を振り返り，本時のめあてをつかむ。 公民館や施設・店を見学について 探検や発表会の準備について 発表会について</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>— <本時のめあて> — 校区たんけんをして，すてきだな・すごいなと思ったことをふりかえろう。</p> </div> <p>2 校区探検をしてすてきだな・すごいなと思ったことを聴き合う。 (1) 振り返りカードにすてきだな・すごいなと思ったことを書く。</p> <p>探検のこと（公民館・施設や店） ・地域の人がやさしく教えてくれた。 ・あいさつの声が大きくなった。 ・初めて知ったことがあってうれしかった。 準備のこと（探検・発表会） ・友達から教えてもらってうれしかった。 ・友達からほめてもらってうれしかった。 ・友達のよいところをたくさん見つけることができた。 発表会のこと ・一人でがんばって発表することができた。 ・練習したことを本番で出すことができた。 ・友達が最後までしっかり聴いてくれてうれしかった。</p> <p>(2) 全体で聴き合う。 ・探検をして施設や店の人と知り合いになってうれしかった。 ・施設や店の人にあいさつができるようになった。 ・校区の中に，すてきなこと・すごいことをたくさん見つけることができて，うれしかった。</p> <p>3 「たんけん はっけん だいぼうけん」の学習をして，自分が思ったことや感じたことを施設や店の人々へ伝える方法を話し合う。 (1) どんな方法や内容があるか考える。 <方法> ・手紙 ・カード ・メダル <内容> ・初めて知ったことや分かったことを書く。 ・教えてくれたことへの感謝の気持ちを表す。 ・これから自分がしていきたいことを書く。 (2) 考えた方法を話し合う。</p> <p>4 本時学習をまとめ，次時学習について知る。</p>	<p>本時のねらいを意識させるために，これまでの活動のようすの写真を提示し，振り返ることができるようにする。</p> <p>「たんけん はっけん だいぼうけん」の学習をして，自分ががんばったことやできるようになったことを思い出させる。</p> <p>施設・店のことは「ち」 自分のことは「じ」 友達のことは「と」 の印をつけて書き込ませる。 振り返りカードに，探検をして話をしてもらった人（公民館の館長さん・施設や店の人）のことを書いている。</p> <p>振り返りカードに探検や発表会の準備で友達と協力しながら活動したことを書いている。</p> <p>振り返りカードに発表会での聴き方や話し方を想起しながら書いている。</p> <p>聴き手は，うなずいたり，分からないことは聴き返したりしながら聴く。 話し手は，自分の思いが伝わるように話す。 発表を通して，友達や自分のよさに気付かせる。 交流活動を通して，探検前の自分と比べて，成長したことが実感できるようにする。</p> <p>公民館見学後，手紙を書いたことを思い出させる。 自分の発見をどんな方法や内容で施設や店の人に伝えるかを考えている。</p> <p>自分の成長の気付きを施設や店の人に伝えるように仕組む。 友達の考えを賞賛し，施設や店の人に伝えたいという意欲をもたせる。 見学させてもらった施設や店の人へのお礼の気持ちを自分の考えた方法で書くことを伝える。</p>